

完了後の評価個表

整理番号	森1-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	北海道
地区名	あしよろちよう 足寄町	事業実施主体	足寄町、本別町、陸別町、足寄町森林組合等
関係市町村	足寄町	管理主体	足寄町、本別町、陸別町、足寄町森林組合等
事業実施期間	H16～H20（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 足寄町は、十勝の東北部に位置し、周囲は山岳に囲まれた扇状の地形で、東部には雌阿寒岳・オンネトーを中心とする阿寒国立公園区域となっている。 この山岳を水源とする足寄川と、町の中心を流れる利別川の合流点に市街地が形成され、また、北西部には大雪山国立公園と接する山岳を水源とする美利別川が流れており、この3本の川とその支流沿いに耕作地が開け、集落が形成されている。</p> <p>② 森林の現況 当町の森林面積116,396ha（森林率82.6%）のうち、民有林面積は38,114haで森林全体の32%を占めており、内訳は私有林が29,324ha（77%）、町有林が8,790ha（23%）となっている。 民有林の人工林面積は15,657ha（人工林率41%）であり、樹種はカラマツが75%を占め、年齢構成ではⅦ年齢級以下の森林が50%を占めている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当町においてはこれまでに15,657haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは除伐及び間伐等の保育を必要としているが、木材価格の低迷等に伴い、森林所有者の施業意欲が減退しており、森林の有する多面的機能の高度発揮が懸念される状況にあった。 また、森林経営の基盤となる林道等の路網が十分に整備されていなかったことから、適切な森林施業の実施や効率的な木材生産に支障を来していた。 このため、計画的に除伐・間伐等の森林施業を推進するとともに、路網が必要な森林において林道を開設することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、もって森林環境の保全に資することを目的として事業を導入した。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 638.7ha、下刈 2,525.5ha、除間伐 1,887.6ha、受光伐等 86.4ha、作業路整備 418m</p> <p>林道整備</p> <p>① 作太郎山線 車道幅員 4.0m 開設延長 9,338m 利用区域面積 662ha</p> <p>② 谷の沢線 車道幅員 4.0m 開設延長 6,353m 利用区域面積 527ha</p> <p>総事業費 1,610,249千円 （当初総事業費 6,378,160千円）</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成26年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業内容の変更や低コスト化に伴い、事業採択時に比べ総事業費・総便益・総費用が減となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>18,321,011千円</td> <td>(事業採択時 37,811,014千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>4,525,439千円</td> <td>(事業採択時 13,034,658千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>4.05</td> <td>(事業採択時 2.90)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	18,321,011千円	(事業採択時 37,811,014千円)	総費用 (C)	4,525,439千円	(事業採択時 13,034,658千円)	分析結果 (B/C)	4.05	(事業採択時 2.90)
総便益 (B)	18,321,011千円	(事業採択時 37,811,014千円)								
総費用 (C)	4,525,439千円	(事業採択時 13,034,658千円)								
分析結果 (B/C)	4.05	(事業採択時 2.90)								

② 事業効果の発現状況	<p>農耕地の多くが森林に近接していることから、本事業で植栽されたカラマツが良好に成長することにより、土砂の流出防備や水源涵養機能等の効果を得ている。 また、除伐・間伐により適正に本数管理することにより、林内が明るくなり、景観が向上し、町民の散策や山菜採りに活用されているほか、多種多様な生物の生息地となっている。 林道開設により、路網から500m未満となる森林面積が開設前の83%に対して100%となり、開設前は既設公道から利用区域内森林の中心部まで約600mを歩行していたのに対して自動車での到達が可能となるなど、森林へのアクセスが容易となった。 また、利用区域内の間伐等の保育作業及び適期を迎えた主伐がなされ、整備以前の5年間では施業面積が38haだったが、整備後5年間では約403ha実施されるなど森林施業が活性化された。</p>
-------------	---

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>当事業により開設された林道は、足寄町が定めた林道維持管理規程に基づき管理されている。 新たに植栽された森林は、森林所有者自ら、又は、森林所有者から経営受託した森林組合が適正に管理を行っており、特に新たな植栽を行った森林については、その後も下刈り等の保育施策が適切に実施されている。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備が実施され林内の明るい単層林や複層林、針広混交林が整備され、森林の景観が向上してきている。 林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>林業労働の軽減、森林施業コストの低減が図られ、将来の木材供給源としての期待がより一層高まってきている。 林道整備により、作業現場へのアクセスの改善、素材生産の低コスト化等が図られ、森林施業の意欲が徐々に増進されてきており、持続的な森林経営と間伐等の生産性向上に向けて、地域が一体となって取り組んでいる。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備事業の実施によつて土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。(北海道) ・ 林道の開設後は、沿線の小溪流等へ散策に訪れる者が増加してきており、森林災害等の早期発見に寄与している。(足寄町) ・ 森林施業の集約化を図り低コスト化を促進し、森林所有者の林業経営意欲の向上を図るため、計画的かつ効率的な森林施業の実施に努める必要がある。(森林組合)
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 当事業の実施後は、伐採跡地への植栽、未整備森林の解消により、土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、当事業の効果が発揮されている。 森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されている。 以上のことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備及び林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効であること、また、林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること、さらに、林道が災害時の迂回路としても機能していることから事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

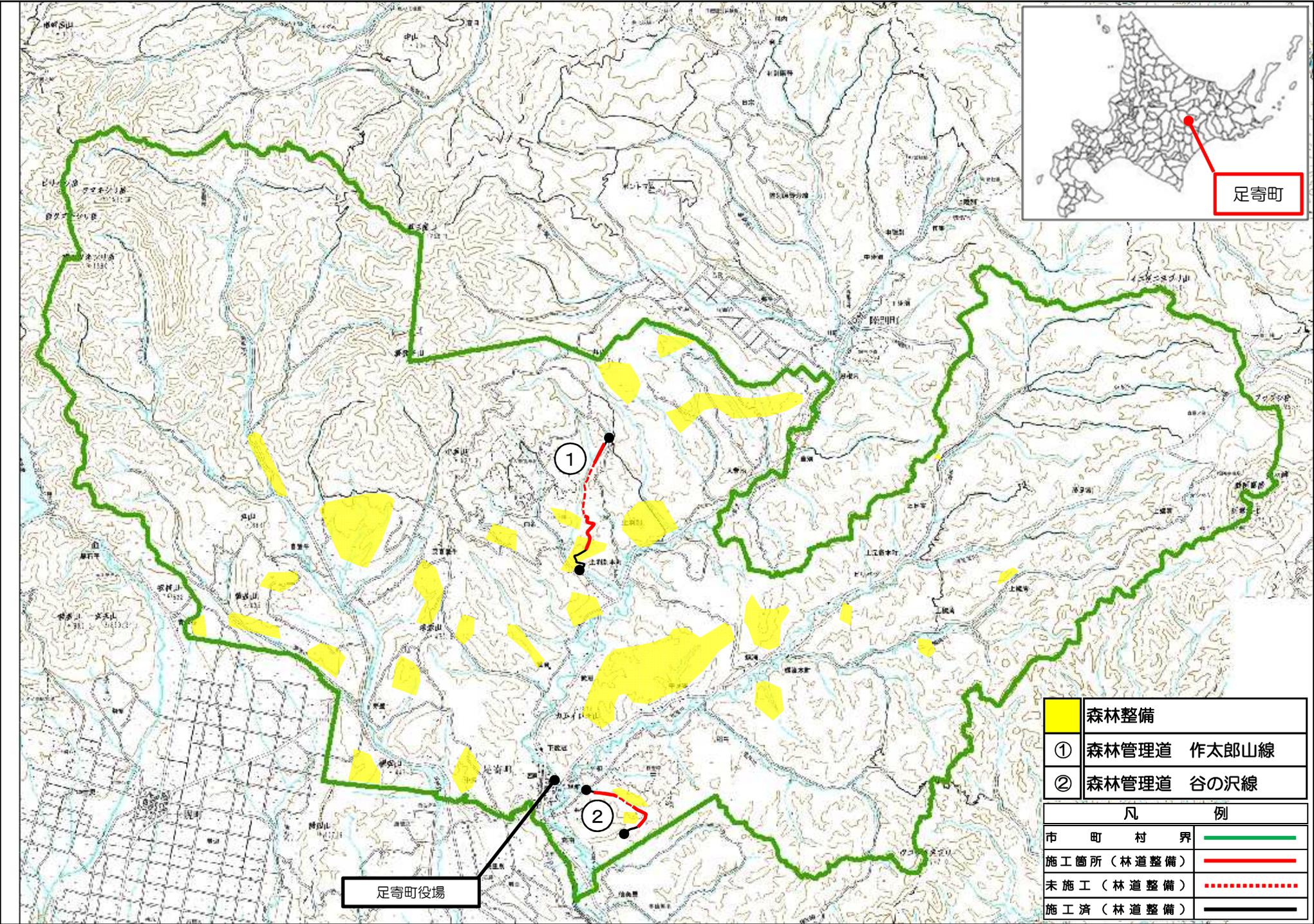
都道府県名:北海道

地域(地区)名:あしよろ ちよう足寄町

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,098,602	
	流域貯水便益	904,792	
	水質浄化便益	1,992,880	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,919,564	
	土砂崩壊防止便益	368,886	
環境保全便益	炭素固定便益	2,297,772	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,907,973	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	830,542	
総 便 益 (B)		18,321,011	
総 費 用 (C)		4,525,439	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,321,011}{4,525,439} = 4.05$		

森林環境保全整備事業 足寄町地区 概要図 【北海道】



	森林整備
①	森林管理道 作太郎山線
②	森林管理道 谷の沢線

凡 例	
市 町 村 界	
施工箇所 (林道整備)	
未施工 (林道整備)	
施工済 (林道整備)	

足寄町役場